

令和6年度 県産木材スタディーツアー等委託業務

事業目的

- ① 県産木材に携わる仕事（林業、木工業等）に興味を持ってもらう。
- ② 県産木材の良さを知ってもらう。

本県の林業における課題

① 県産木材における魅力の認知不足

多種多様な樹種を有する本県の木材における特性及び木目・色合いなどといった特徴や利活用法等の認知度が低い。

② 安価な移入材との競合

県産木材の供給量問題及び県外産木材による安価な価格等の影響により、県産木材の流通量が低い。
（令和4年度木材需給量の実績：県産材3.4%、移入材89.3%、輸入材7.3%）

③ 県産木材の入手可能な場所などの情報不足

県産木材の入手可能な場所が限られているため、県産木材を手にとれる機会が少ない。

県民



沖縄県産木材ってなんでこんなに高いんだろう。
県産材ってどこで使われているの。
他府県の材と何が違うんだろう。
そもそも沖縄県に林業ってあるの？

高校生



将来、どんな仕事に就こうかな。内地に就職しようかな。

業務内容

業務1(県産木材ツアー)について

※業務1については高校の教諭及び教育庁担当者のみ対象。

- ① 本県の森林の特徴について座学（動画視聴等）
- ② 木工業者との交流（工房見学及び作品紹介）
- ③ 県産木材を使用している施設見学（サービス業）
- ④ 参加者との意見交換会の実施



業務2(県産木材活用体験調査)について

※業務2については生徒を対象。

- ① 本島内の高校(3校程度)へ板材を各校0.5㎡提供
- ② 高校生へ座学として動画を視聴
- ③ 木工業者から学生へ材の特徴や加工方法の説明
- ④ 授業等で実際に材を提供し作品作成
- ⑤ 作成風景の撮影やアンケート調査を高校へ依頼



実施

期待される業務効果

- (1) 次世代に林業・木工業の魅力が伝えられる
- (2) 県産材の活用方法などを周知できる
- (3) 県産木材の良さを高校生に知ってもらえる
- (4) 地域資源の循環活用について学べる

